

平成28年度予算のお知らせ

厳しさを増す健保財政に皆さまのご理解・ご協力をお願いします!!

第161回ダイハツ系連合健康保険組合【2月22日(月)開催】において平成28年度予算が承認されました。

全国の健保組合は、医療の高度化や高齢化社会の進展で膨らみ続ける医療費を支えるための国への拠出金負担により危機的状況にあります。

多くの組合が保険料率を上げる中、当組合は、平成28年度も各種財政施策を講じると共に、継続的な自助努力を行い**10%の保険料率を維持**します。

しかし、団塊の世代が高齢化を迎えた今、医療費と国への拠出金負担は今後も増加が見込まれ、健保財政が破綻の危機に直面していることに変わりはありません。

支出が収入を上回り、大切な組合財産の繰入や国や上部団体(健保連)の補助金により収支バランスが取れている状況です。(全国の健保組合の約70%が経常収支赤字であり、当組同様の状況に苦しんでいます。)

景気の低迷と消費税増税による社会保障費政策(国の医療制度改革)が延期、実行されないため、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。

事業主の皆さま、組合員の皆さまにおかれましては、引き続き健保組合へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



健康保険予算

収入合計額 64億8,076万円

健康保険料 57億9,536万9千円

前年度決算残金からの繰越
2億9,817万円

財産(法定準備金)からの繰入
2億2,387万4千円

その他の収入
7,465万4千円

国・上部団体からの補助金
8,869万3千円

支出合計額 64億8,076万円

保険給付費(医療費、現金給付費)
31億9,841万6千円

高齢者のための国への納付金
30億128万2千円

保険料を超える支出超過分を前年度決算残金2億9,817万円や組合財産2億2,387万4千円、国や上部団体(健保連)からの補助金8,869万3千円でカバー

予備的費用
3,200万円

その他
7,444万5千円

保健事業
9,808万8千円

事務所費
7,652万9千円

皆さんからお預かりした保険料の**55%**は組合員とご家族の医療関係費に使われます。

皆さんからお預かりした保険料の実に約半分(**52%**)を国全体の高齢者(65歳以上の方)の医療費を負担のため国へ拠出する状態になっています。

経常収支差引額 ▲5億7,664万5千円

医療費と拠出金で保険料収入を4億400万円超過

平成28年度予算概要
(各種基礎データ)

健康保険料率=10%	
事業主=5.39%	被保険者=4.61%

平成28年度適用状況	
年間平均被保険者数	12,115人
平均年齢	37.05歳
平均標準報酬月額	319,620円
平均年間賞与額	1,147,000円

介護保険予算

皆さんから納付いただいた介護保険料で、国に指定された負担額を納めています。

介護保険料は全国の市区町村に配分され高齢者の介護の費用として使われています。

介護保険料率は、負担額の増加により**1.64%**と**1.4ポイント**の引上げとなりました。

介護保険予算総額 4億4,431万2千円			
収入		支出	
介護保険料収入	4億2,707万5千円	介護保険納付額	4億4,107万4千円
その他収入	6万7千円	その他支出	323万8千円
財産(法定準備金)からの繰入	1,717万円		

平成28年度予算概要(各種基礎データ)

介護保険料率=1.64%		平成28年度適用状況	
事業主=0.82%	被保険者=0.82%	介護保険対象者	6,497人
		介護保険納付対象者	4,584人
		平均標準報酬月額	374,605円
		平均年間賞与額	1,390,000円